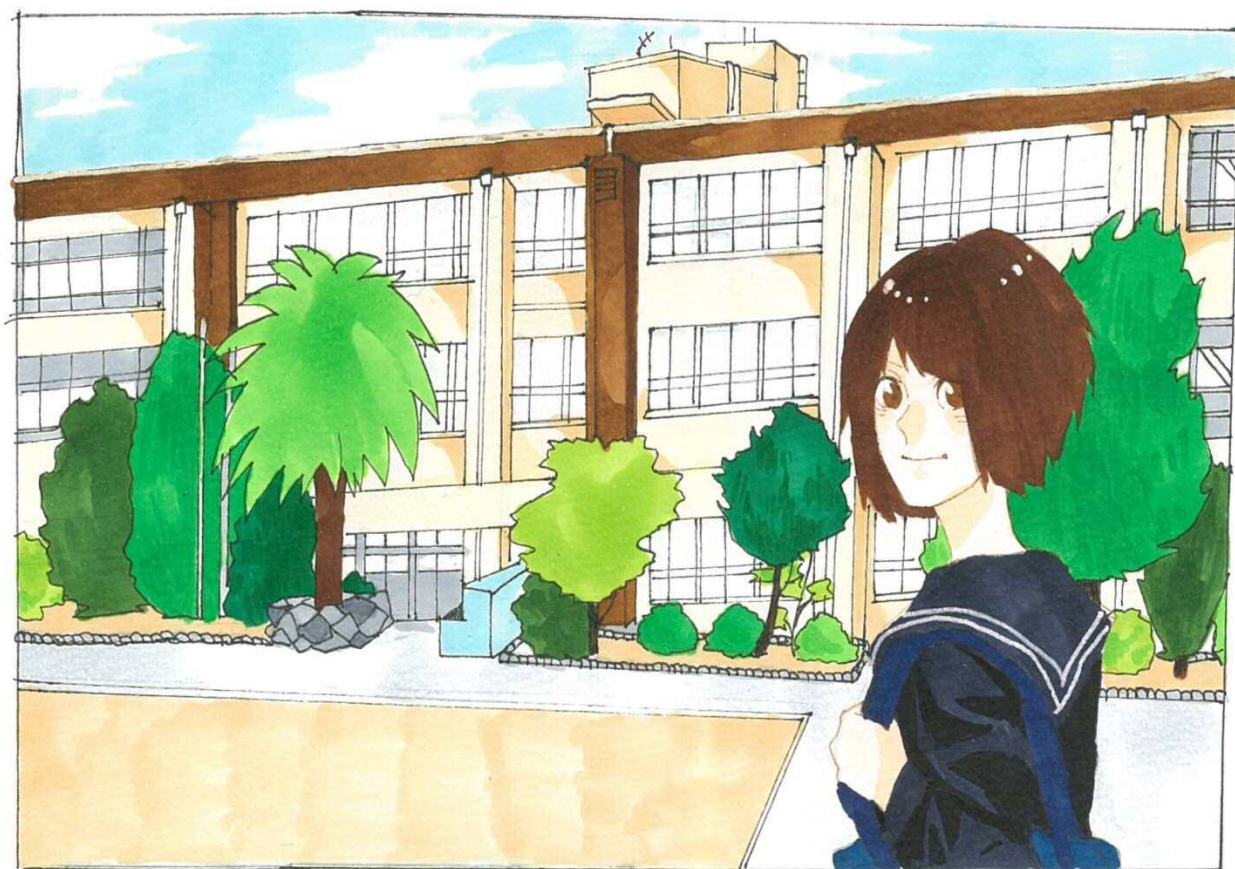


家庭学習の手引



和歌山市立東中学校

学習する意義

私たちはなぜ勉強するのでしょうか。私たち人間は、長い人生のなかで、さまざまな壁に直面します。たやすく乗り越えられる壁もあれば、乗り越えるのには、さまざまな工夫が必要な大きな壁もあります。

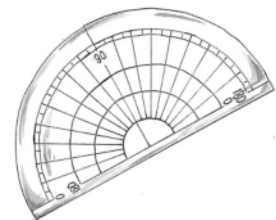
**自ら壁を乗り越えられる力を身につけ、
自分の人生をより豊かなものにしていくために、
しっかりと勉強していきましょう。**



学習意欲を高めるには

あなたはどんな夢や目標をもっていますか。夢や目標に向かって、意欲的に学習に取り組むことで、「集中する力」や「継続する力」が育ち、自分の興味関心や進路を「追い求める力」を身につけていくことができます。

夢や目標をもつことは、学習意欲の原動力になります。親や先生に相談しながら、少しずつ目標を明確にしていきましょう。



はじめに意識してほしいこと

- 挨拶
- 正しい言葉づかい
- 人の話を聴く
- 相手を思いやる
- いじめをしない
- 目上の人を敬う^{うやま}
- 時間を守る
- 掃除をする
- 手伝いをする 等

基本的な生活のマナーやルールを身につけることは、さまざまな学力をつける上で土台となります。規律意識が高まることで、学習のルール（チャイム着席、宿題をやりきる、提出期限を守る等）も守れるようになります。**日ごろの行動を大切に**していきましょう。

各学年のめあて



1日の勉強時間（目安）
平日2時間 テスト前4時間



1
年

学習の「ルール」を守り、学習の習慣を定着させよう
（勉強を始める時間、学校に持って行くものは自分でそろえる等）
分からないことは、そのままにしないでここう

自分なりの学習方法を見つけ、継続的に取り組もう
得意教科は伸ばし、不得意教科は少しずつ克服しよう

2
年



3
年

1・2年生の復習と日常の学習を両立させよう
体調管理を十分に、目標を明確にして計画的に取り組もう

家庭学習のポイント ①環境を整える

規則正しい生活リズムを！

早寝・早起きはもちろんのこと、朝ご飯もしっかりとりましょう。

携帯電話やスマートフォン、ゲームはほどほどに！

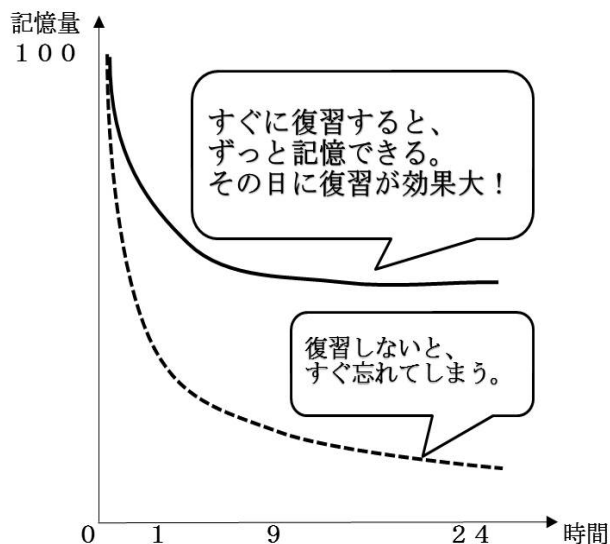
最新の研究によると、『通信アプリの使用時間が長くなるほど、勉強をたくさんしても、身につけにくい』ことが示されています。（学習意欲の科学研究に関するプロジェクト、2015年3月）

家庭学習のポイント ②繰り返し学習する

復習するたびに定着する！

人はどれくらいの割合で、覚えたことを忘れるのでしょうか。ドイツの学者”エビングハウス”の研究によれば、覚えてから1日後には70%以上忘れてしまうそうです。

すぐに復習するのはもちろんのこと、復習の回数を増やし、**繰り返し学習する**ことで、学習内容が定着しやすくなります。



やってみよう！家庭学習

ひ「開いて毎日、すぐに復習」

その日のうちに授業ノートや教科書を開いて再確認！

が「我慢強く、納得するまで」

分からないことは、あきらめずにやりきる！

“なるほど！そうか！”が記憶につながる！

し「しっかり書いて、声に出して、繰り返し」

五感を最大限に使い、何度も脳に刺激を！



まず自分で考えよう！

考えて分からないところは、家族・友だち・先生に質問しよう。

国語

「読む・書く・話す」の力をみがこう！

先生から
アドバイス>>



【毎日】

- ・漢字練習を一日20分または100字！
- ・意味調べや、漢字の読み仮名づけを頑張る。
- ・教科書を声に出して読む。

【普段の生活】

- ・生活の記録をきちんとした形（言葉づかい・整った文）で書く。
- ・辞典を利用しながら新聞を読む。

社会

「知らない」ことを「知る」楽しみ！

先生から
アドバイス>>



【地理】

- ・世界と日本との関わりを知る。
- ・教科書と地図帳に出てくる図や表を復習する。
- ・国や地域の場所を覚える。

【歴史】

- ・時代の始まりと終わりをしっかりとつかむ。
- ・授業で出てきた言葉や人物を自分なりにノートにまとめる。
- ・年表を見て、歴史の流れをつかむ。

【公民】

- ・日頃からニュースなどに関心を持ち、社会の動きに注目する。

【地理・歴史・公民共通】

- ・流れがわからないところはノートにまとめる。
- ・言葉だけを覚えるのではなく、その言葉の背景にあるできごと（理由）を人に説明できるようにまとめてみる。

数 学

先生から
アドバイス>>



「毎日」チャレンジし続けよう！

数学の勉強は、自転車の乗り方を覚えることに似ています。

- ① 解き方を覚える（乗り方を覚える）
- ② 解き方に慣れる（乗り方に慣れる）
- ③ いろいろな問題を解く（いろいろな場所に行く）

【ポイント】

- ・宿題は、自分で確実に取り組もう。数学は特に復習が大切！
- ・授業の問題はノートを活用し、もう一度やってみよう。
- ・毎日5問ずつ、計算の自主勉強をしよう。1年続けると1800問以上！

理 科

先生から
アドバイス>>



「なぜ？」の気持ちを大切に！

- 【学校】
- ・授業中、ノートはきちんと書き、先生の話の中で大切だと感じたことはノートにメモしておく。
 - ・授業内容で疑問に感じたことは、先生に質問する。
 - ・実験には真剣に取り組み、体験したことを大切にする。
 - ・「つまり、こういうことか」と自分なりに理解し、問題を解く力をつける。

- 【家庭】
- ・プリントやレポートを整理して、ファイルにとじるか、ノートに貼る。
 - ・学習した重要語句や公式をサブノート等にまとめる。

【テスト前】

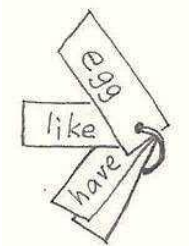
- ・重要語句や公式を覚える。
- ・計算問題の練習をする。
- ・試験範囲のプリントやマイノートの問題を何も見なくても正解できるようにする。

《ポイント》

- ・なぜそうなるのか、理由から理解し、問題を解けるようにしましょう。

英 語

先生から
アドバイス>>



「継続は力なり！」

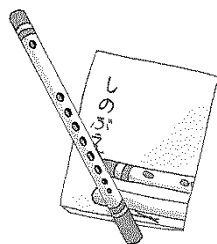
英語の学習は積み重ねです。1年生で学んだ基礎の上に新しいことを勉強していきます。授業でわからなかったところは、その都度先生に質問しましょう。また、つまずきに気づいたら戻って勉強し直しましょう。

【ポイント】

- ・単語・熟語は習ったその日に、読み方・書き方を復習し、覚えよう。
- ・文法も習ったその日に復習し、理解できているかどうかを確認し、練習問題をたくさんしよう。
- ・教科書の本文は暗記するまで読み書きしましょう。

音楽

先生から
アドバイス>>



「今、やるべきことできることを全力で！」

【得意な教科にするために】

- ・コロナ禍でいろいろな制約があるからこそ、基礎・基本を充実させよう。それが成長につながります。
- ・まずはチャレンジしてみる事が大切です。

【授業を大切に】

- ・授業中に配布されたプリントは全てノートに貼る。
- ・ノートに貼ったプリントを参考にテスト勉強をする。
- ・わからない記号は、教科書の記号のページで調べる。
- ・提出物は期限を守って出す。

美術

先生から
アドバイス>>



普段から身の回りをよく「観察」しよう！

【時間内に作品を仕上げるためには】

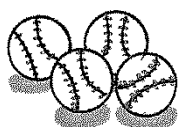
- ・美術の授業は週に1回程度です。短い時間で良い作品を仕上げるために50分間集中して取り組みましょう。また忘れ物には気をつけて！！

【苦手でもひとまず描く】

- ・絵が苦手でもひとまず描き進めてみましょう。何枚も描いたり作ったりしていくうちに上達していきます。

保健体育

先生から
アドバイス>>



「心と体はつながっている」

【体育】

- ・自分の課題を見つけ、その解決に向けて練習の仕方や試合の仕方を考える力をつけよう。

【保健】

- ・保健の大切さを認識し、健康な生活確立していこう。

技 術

先生から
アドバイス>>



「授業で習ったこと」を復習しよう！

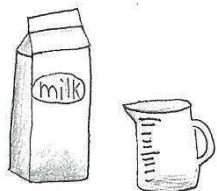
【“ものづくりは人づくり” ものを作るだけが授業ではない！！】
・技術の授業ではいろいろな工具を使用して実習を行います。
実習ではただ単にものを作るだけでなく、準備や後片付け、手順良く作業をする計画、ものを大切にするなどいろいろな事を学びましょう。

【教科書の太字や、実習の作業のポイントを自分で整理してみよう】

- ①授業でならった言葉や説明を自分なりにノートにまとめよう。
- ②2・3日後にもう一度見直しをしてみよう。
- ③最後にもう一度教科書で復習をしよう。

家 庭

先生から
アドバイス>>



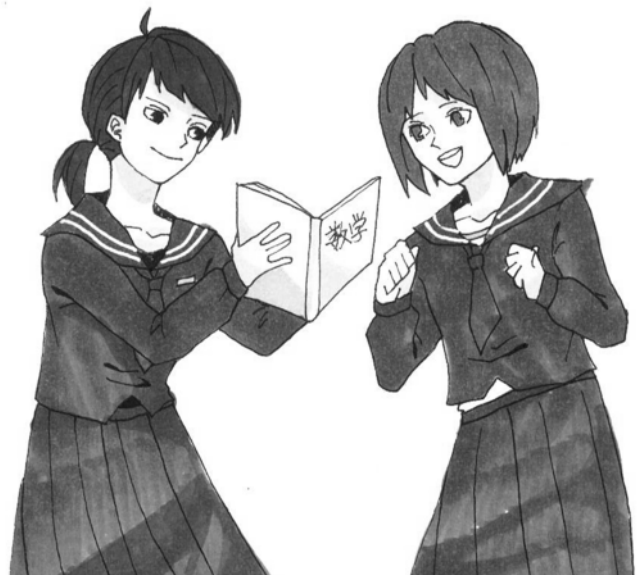
ぜひ「家庭で」実践を！

家庭分野は生活に密着した教科です。

1，2年生は週に1時間，3年生は2週間に1時間ととても少ない教科です。

【ポイント】

- ・実習(作品作り)は，遅れないように毎時間集中して取り組もう。
- ・学習したことを家庭で実践して，さらに問題解決に取り組もう。





●保護者のみなさまへ●

お子さまに「わかる楽しさ」「できる楽しさ」「使える喜び」を実感させるために、家庭で自分なりの勉強方法をみつけていくことが大切です。この「家庭学習の手引」を活用し、より充実した中学校生活を送れるようにしてください。

ご家庭でのチェックポイント

- ☐ 早寝・早起きの生活リズムはつくりけているか。
- ☐ バランスのとれた朝ご飯を食べているか。
- ☐ 学校に持って行くものを毎日確認しているか。
- ☐ 家庭学習をしっかり行っているか。
- ☐ 学校での学習や社会の出来事について、ご家庭で話をしているか。

